

緑茶(さんぴん茶)の輸入

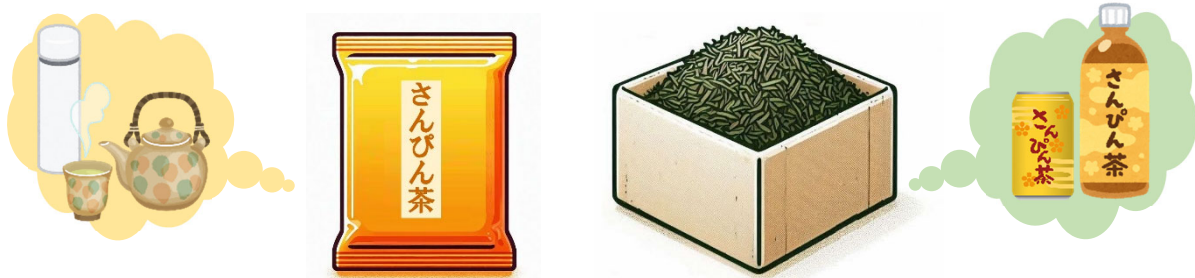
- ・緑茶(小売用)は、2023年の輸入数量・金額が過去最高
- ・緑茶(原料用)は、輸入数量が減少傾向

はじめに

昨年、沖縄地区税関において小売用緑茶の輸入数量・金額が過去最高を記録しました。「沖縄で緑茶を飲む機会がそんなに多いのかな？」と疑問に思われる方がいるかもしれません。緑茶と言っても沖縄で輸入される緑茶、実は「さんぴん茶」が大半を占めているのです。今回は、「緑茶(さんぴん茶)」に焦点を当てて、沖縄県における輸入の動向を見てみましょう。

「緑茶」の輸入推移

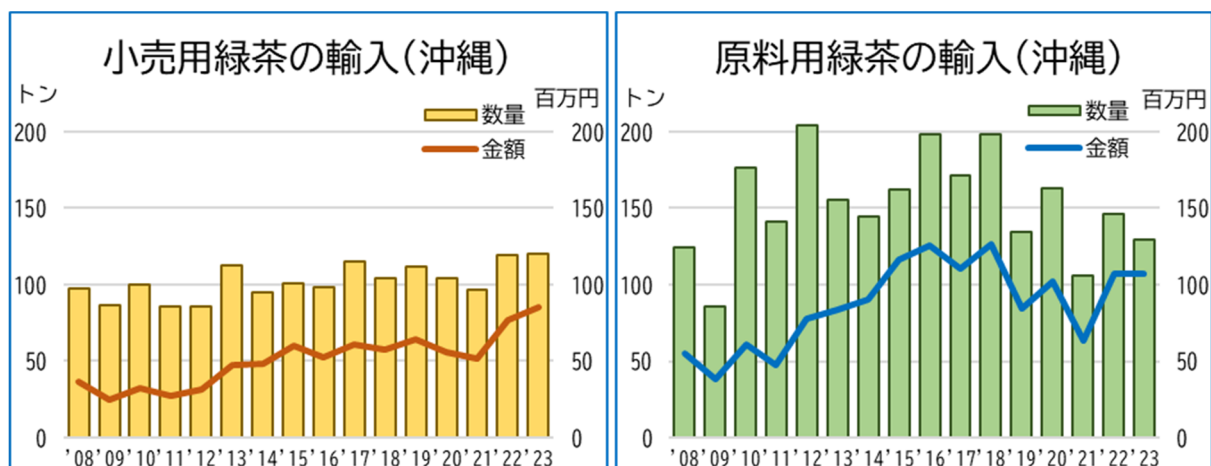
「緑茶」の統計品目番号は、「0902.10-000」と「0902.20-200」の2種類が存在します。2つの品目番号の違いは、包装が3キログラム以下か3キログラム超かで、主に前者は小売用、後者はペットボトルや缶等の茶飲料の原料用として使用されます。



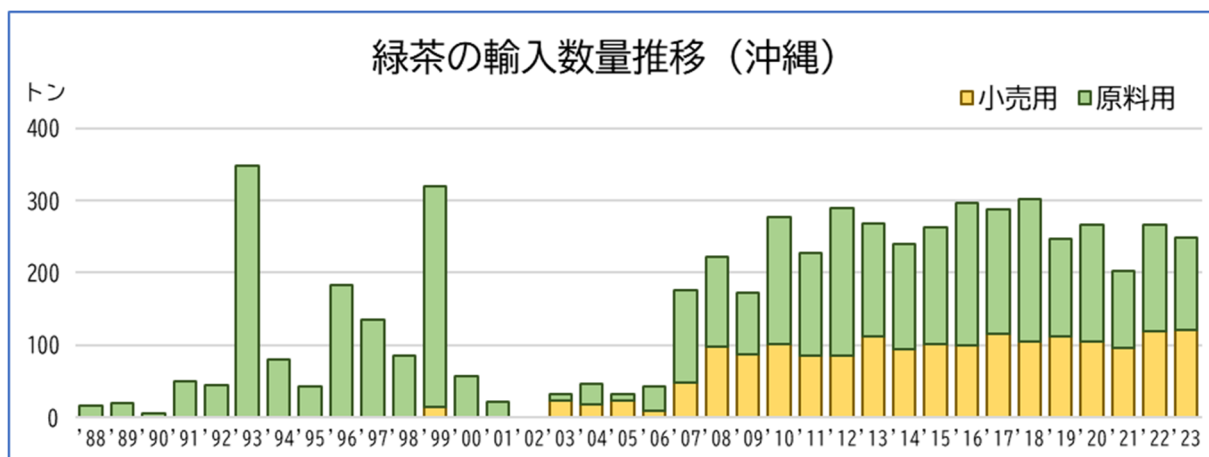
小売用（3キログラム以下包装）
(0902. 10-000)

原料用
(0902. 20-200)

小売用の数量は2008年以降一定数(原産国はほぼ中国)を確保しつつ次第に増加、金額も徐々に上昇し、2023年は数量が120トン、金額が85百万円といずれも過去最高を記録しました。一方原料用にあつては2012年の204トンをピークに数量は減少傾向、しかし金額は2012年から2016年まで上昇し、現在に至っています。



両者の輸入数量の推移を年代別にみると、小売用は2008年以降100トン前後と比較的安定した輸入数量であることがわかります。



増減の要因

小売用と原料用の増減の違いについて業界へヒアリング等を実施したところ、いくつかの要因が見えてきました。

小売用の増加 要因

1. 新型コロナウイルス感染症による要因

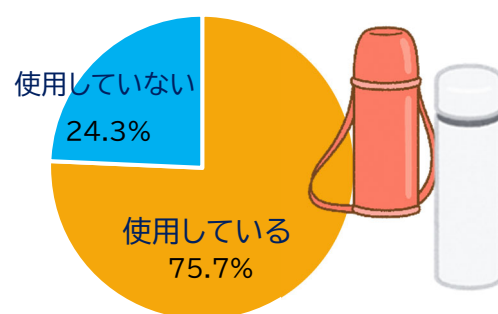
まず新型コロナウイルス感染症による外出制限で在宅でのテレワークやオンライン授業が増え、各家庭でお茶をつくる機会が増えていきました。その結果、2022年以降コロナ禍前の実績を上回る実績となりました。業界によると小売用の需要は現在も続いているそうです。

2. マイボトル利用の定着

前述した家庭でお茶をつくる機会が増えた要因に加え、熱中症対策や節約志向、環境への配慮といった理由からマイボトルを利用する人が増えてきています。

全国を対象に2023年に実施されたアンケート調査では、外出時のマイボトル利用割合が7割を超え、マイボトルに入れる飲み物の種類もお茶が過半数を超えていました。¹ もしかしたら以前よりも店頭で家庭用の水出しさんぴん茶に手を伸ばす機会が増えているのかもしれません。

水筒など、持ち歩き可能な「マイボトル」を使用していますか。



一般社団法人日本宅配水＆サーバー協会
「水分補給に関するアンケート結果（2023年）」より

3. 県外への販路拡大

県外へのマーケットも拡大していることがわかりました。観光で沖縄を訪れた人や展示会での出品等を通して、「さんぴん茶」の名称に対する認知度が広まりつつあり、特に小売用で水出しでも作れるティーバッグタイプは、その手軽さから県外でも人気があるようです。

原料用の減少➡要因

1. 新型コロナウイルス感染症による要因

ペットボトルや缶等飲料の原料用緑茶の輸入(沖縄)グラフを見ると、2021年に減少しています。これは新型コロナウイルス感染症による影響ですが、前年(2020年)比数量ベースで 64.8%となっています。外出制限と観光客の激減により外で飲み物を飲む機会が少なくなり、飲料系への影響が大きかったそうです。

2. その他の茶飲料へのユーザーの流出

健康志向や猛暑による水分補給、止渴ニーズの高まりにより、緑茶飲料市場は2023年の売上金額が過去最高²と推計されています。

2018年から2022年における全国のペットボトルや缶等で販売されている清涼飲料水の商品数を見てみると、茶系飲料は4年間で130商品、紅茶飲料は40商品と品揃えが拡大しています。健康志向の高まりから特定保健用食品(トクホ)や機能性表示食品を兼ね備えた茶飲料も増えました。³

ユーザーがさんぴん茶以外の茶飲料に流出し、その結果、原料用の輸入減少につながっているものと考えられます。

清涼飲料水の新商品数・商品数

年 品目	2018(H30)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)	
	新商品数	商品数	新商品数	商品数	新商品数	商品数	新商品数	商品数	新商品数	商品数
茶系飲料	161	600	133	617	255	688	164	697	197	730
紅茶飲料	67	236	49	231	86	258	68	236	95	276

一般社団法人全国清涼飲料連合会「清涼飲料統計 2023」より

今後の見通し

業界等によると、

- ・県内は飽和状態であるのに対し、県外への販路拡大は大いに伸び代あり
- ・熱中症対策、節約志向、環境への配慮によりマイボトルを利用する習慣が定着

以上の理由から小売用緑茶(さんぴん茶)の輸入は今後も継続して伸びるものと思料されます。

原料用についても

- ・2023年後半から観光客増加に連動して、飲料系(さんぴん茶以外も含む)の売り上げは回復～増加
 - ・猛暑による止渴ニーズが高まると無糖飲料であるお茶やミネラルウォーターの販売が増加傾向
- といった理由から、茶飲料全体の需要があるので、県外での販売や他の茶飲料との差別化が進めば、輸入も増加に転じる可能性があると思われます。

今回の特集を作成するにあたって、各さんぴん茶商品(茶葉・ペットボトル飲料等の銘柄20数種類)を部内職員で飲み比べてみました。さんぴん茶はどれも同じだと思っていましたが、商品によって特色が3つに大別でき、それぞれ飲みたくなる状況も異なると感じられました。

◎香りは強めだが緑茶の味は控えめ。→喉越しすっきり。暑い日の止渴飲料に最適。

◎適度な香りと確かな緑茶の渋み。→緑茶が食後の口中をすっきり。食事のお供に最適。

◎香り高く味わい深い緑茶の味。→さんぴん茶の香りと味そのものをじっくり楽しむのに最適。

状況によってさんぴん茶を飲み分けてみると、そのニーズに合致した香りと味が楽しめそうです。またペットボトル飲料でもベースの茶葉や香りの強弱が選べれば、さんぴん茶の楽しみ方や可能性が更に広がるかもしれませんね。

「さんぴん茶」とは

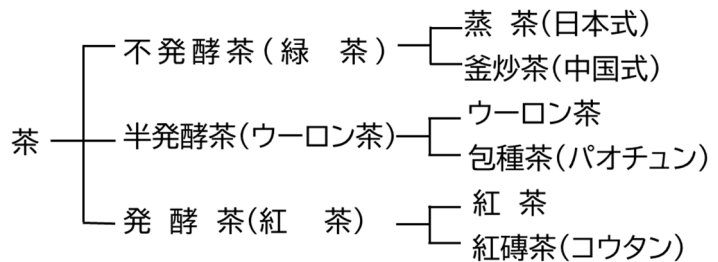
「さんぴん茶」とは、「ジャスミン茶」のことで、中国語の俗称「香片（シャンピエン）」が由来と考えられています。ジャスミンの香りは緊張をほぐし、リラックスさせる効果があるといわれています。沖縄に「さんぴん茶」がいつ伝わってきたのかは定かではありませんが、庶民層に普及したのが1901（明治34）年に尚家財閥の貿易商社、丸一洋行が福州に製造工場を設置し、県内に普及させるころからと考えられているようです。⁴

また沖縄で販売されている「さんぴん茶」には、ジャスミンの花香を半発酵茶（いわゆるウーロン茶）に着香したものと、緑茶（日本の緑茶のような蒸したのではなく、釜煎りにしたもの）に着香したものがありますが、現在は後者の方が大半を占めています。「沖縄大百科事典」⁵ではさんぴん茶について、「本来は台湾で生産される包種茶に茉莉・秀英などの花で着香した茶をいうが、1974

（昭和49）年ごろから緑茶に着香したものをいう。」と記されています。

因みにこの「ジャスミン茶」、中国語で「茉莉花茶」と「香片茶」の2つの言い方があるようで、中国福州の地域では等級の違いで使い分けられているようです。⁶

お茶の分類



- 資料：一般社団法人日本宅配水&サーバー協会 ホームページ「水分補給に関するアンケート結果(2023年)」
- 資料：株式会社伊藤園 ホームページ「2024年4月期 上半期 決算説明会資料」(2023年12月)
- 資料：一般社団法人全国清涼飲料連合会 ホームページ「清涼飲料水統計 2023」
- 出典：尚弘子 監修「沖縄めちぐすい辞典」,P95(創英社/三省堂書店)
- 出典：「沖縄大百科事典 中巻」,P363(沖縄タイムス社/沖縄大百科事典刊行事務局)
- 出典：須賀努 台湾情報誌「交流」(2018.4 No.925)「(6)包種茶外伝 沖縄さんぴん茶と台湾」,(公益財団法人 日本台湾交流協会)



※本特集は、以下の輸入品目についてまとめたものです。

統計品目番号第09.02項の「茶(香味を付けてあるかないかを問わない。)」のうち、

「0902.10-000」(緑茶(発酵していないもので、正味重量が3キログラム以下の直接包装にしたものに限る。))

「0902.20-200」(その他の緑茶(発酵していないものに限る。))のうち飲用に適していないくず以外のもの)

※「過去最高」とは現在の品目番号体系となった1988年以降の資料を基にしています。

※2022年以前は確定値、2023年は確々報値です。

※端数処理の関係で単位により数量が一致しない場合があります。



本資料の引用は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。

本資料についてのお問合せ：沖縄地区税関 調査部 調査統計課 TEL 098-862-9650

参考資料

1. 統計品目番号0902.10-000の輸入実績推移

(緑茶(発酵していないもので、正味重量が3キログラム以下の直接包装にしたものに限る。))

(単位: KG、千円、%)

年	沖 縄						全 国			
	数 量	前年比	全国比	金 額	前年比	全国比	数 量	前年比	金 額	前年比
1988 (S63)	-	-	-	-	-	-	26,412	-	27,677	-
1989 (H1)	-	-	-	-	-	-	23,190	87.8	28,992	104.8
1990 (H2)	-	-	-	-	-	-	17,465	75.3	25,587	88.3
1991 (H3)	-	-	-	-	-	-	20,221	115.8	25,472	99.6
1992 (H4)	-	-	-	-	-	-	21,030	104.0	24,985	98.1
1993 (H5)	-	-	-	-	-	-	19,659	93.5	17,509	70.1
1994 (H6)	-	-	-	-	-	-	27,142	138.1	35,548	203.0
1995 (H7)	-	-	-	-	-	-	19,683	72.5	24,218	68.1
1996 (H8)	-	-	-	-	-	-	29,718	151.0	43,217	178.4
1997 (H9)	-	-	-	-	-	-	22,764	76.6	60,946	141.0
1998 (H10)	-	-	-	-	-	-	41,995	184.5	82,425	135.2
1999 (H11)	13,345	全増	10.6	297	全増	0.2	125,494	298.8	119,098	144.5
2000 (H12)	-	全減	-	-	全減	-	206,307	164.4	140,556	118.0
2001 (H13)	-	-	-	-	-	-	214,681	104.1	160,129	113.9
2002 (H14)	-	-	-	-	-	-	257,289	119.8	215,928	134.8
2003 (H15)	22,625	全増	6.1	7,108	全増	3.1	373,344	145.1	226,150	104.7
2004 (H16)	18,432	81.5	2.4	5,639	79.3	1.9	754,036	202.0	294,800	130.4
2005 (H17)	23,040	125.0	2.2	6,649	117.9	1.9	1,062,404	140.9	342,141	116.1
2006 (H18)	9,292	40.3	0.9	6,188	93.1	1.7	983,662	92.6	359,023	104.9
2007 (H19)	48,226	519.0	6.8	26,690	431.3	7.8	709,353	72.1	343,751	95.7
2008 (H20)	97,712	202.6	17.9	36,402	136.4	12.7	547,205	77.1	287,611	83.7
2009 (H21)	86,828	88.9	13.8	24,429	67.1	10.1	629,062	115.0	240,707	83.7
2010 (H22)	100,202	115.4	13.9	31,875	130.5	13.3	720,210	114.5	239,627	99.6
2011 (H23)	85,506	85.3	12.0	26,832	84.2	12.1	714,882	99.3	222,104	92.7
2012 (H24)	85,237	99.7	13.9	31,713	118.2	13.9	611,970	85.6	228,810	103.0
2013 (H25)	112,098	131.5	19.2	47,745	150.6	18.0	585,095	95.6	265,766	116.2
2014 (H26)	94,708	84.5	24.8	48,569	101.7	22.3	381,848	65.3	218,150	82.1
2015 (H27)	101,020	106.7	28.9	60,023	123.6	25.7	349,458	91.5	233,528	107.0
2016 (H28)	98,554	97.6	25.0	52,852	88.1	16.6	393,435	112.6	317,966	136.2
2017 (H29)	114,851	116.5	27.4	61,220	115.8	15.8	418,731	106.4	387,887	122.0
2018 (H30)	103,779	90.4	24.5	57,786	94.4	13.2	423,445	101.1	438,740	113.1
2019 (R1)	111,747	107.7	22.5	64,199	111.1	14.6	496,204	117.2	438,755	100.0
2020 (R2)	104,006	93.1	21.9	55,790	86.9	15.7	475,862	95.9	355,736	81.1
2021 (R3)	96,538	92.8	19.5	51,319	92.0	14.5	494,298	103.9	355,038	99.8
2022 (R4)	119,510	123.8	24.0	77,036	150.1	15.7	498,227	100.8	489,229	137.8
2023 (R5)	119,944	100.4	26.4	85,219	110.6	18.2	454,500	91.2	469,063	95.9

2. 統計品目番号0902.20-200の輸入実績推移

(その他の緑茶(発酵していないものに限る。))のうち飲用に適していないくず以外のもの)

(単位: K G、千円、%)

年	沖 縄						全 国			
	数 量	前年比	全国比	金 額	前年比	全国比	数 量	前年比	金 額	前年比
1988 (S63)	16,453	-	0.7	13,139	-	1.9	2,218,118	-	696,825	-
1989 (H1)	19,741	120.0	0.7	18,947	144.2	1.9	2,830,729	127.6	1,020,340	146.4
1990 (H2)	5,058	25.6	0.3	6,985	36.9	1.1	1,923,312	67.9	641,101	62.8
1991 (H3)	49,012	969.0	1.8	31,818	455.5	4.3	2,792,610	145.2	738,436	115.2
1992 (H4)	43,845	89.5	1.0	29,641	93.2	2.3	4,497,987	161.1	1,287,905	174.4
1993 (H5)	348,471	794.8	6.4	121,948	411.4	9.2	5,460,998	121.4	1,324,023	102.8
1994 (H6)	79,246	22.7	1.7	34,339	28.2	2.9	4,691,050	85.9	1,203,931	90.9
1995 (H7)	41,642	52.5	0.6	16,258	47.3	1.1	6,447,191	137.4	1,439,352	119.6
1996 (H8)	182,019	437.1	1.7	71,463	439.6	2.4	10,794,280	167.4	2,968,724	206.3
1997 (H9)	134,829	74.1	1.2	30,351	42.5	1.0	11,284,670	104.5	3,166,493	106.7
1998 (H10)	84,681	62.8	1.3	12,031	39.6	0.6	6,356,708	56.3	1,902,670	60.1
1999 (H11)	305,659	361.0	2.6	62,918	523.0	1.9	11,921,347	187.5	3,240,992	170.3
2000 (H12)	55,851	18.3	0.4	9,721	15.5	0.2	14,121,645	118.5	4,039,709	124.6
2001 (H13)	21,975	39.3	0.1	3,935	40.5	0.1	17,524,576	124.1	5,534,795	137.0
2002 (H14)	-	全減	-	-	全減	-	11,533,057	65.8	3,631,109	65.6
2003 (H15)	8,357	全増	0.1	3,708	全増	0.2	9,868,935	85.6	2,428,645	66.9
2004 (H16)	26,972	322.7	0.2	5,935	160.1	0.1	16,241,119	164.6	4,502,640	185.4
2005 (H17)	7,920	29.4	0.1	1,295	21.8	0.0	14,124,659	87.0	4,082,138	90.7
2006 (H18)	33,153	418.6	0.3	8,185	632.0	0.3	10,270,423	72.7	3,046,799	74.6
2007 (H19)	127,130	383.5	1.4	49,705	607.3	2.0	8,881,150	86.5	2,471,482	81.1
2008 (H20)	124,591	98.0	1.8	55,142	110.9	2.9	6,778,783	76.3	1,913,413	77.4
2009 (H21)	85,847	68.9	1.6	37,991	68.9	2.9	5,235,926	77.2	1,331,596	69.6
2010 (H22)	176,139	205.2	3.4	61,143	160.9	4.4	5,185,332	99.0	1,386,823	104.1
2011 (H23)	140,930	80.0	3.0	47,138	77.1	3.4	4,678,077	90.2	1,396,633	100.7
2012 (H24)	204,312	145.0	4.2	78,109	165.7	5.0	4,860,705	103.9	1,563,636	112.0
2013 (H25)	155,538	76.1	3.6	83,803	107.3	4.4	4,289,762	88.3	1,900,756	121.6
2014 (H26)	144,440	92.9	3.8	90,180	107.6	4.4	3,798,042	88.5	2,042,747	107.5
2015 (H27)	161,801	112.0	5.2	116,629	129.3	5.5	3,123,305	82.2	2,105,477	103.1
2016 (H28)	198,561	122.7	6.2	125,595	107.7	6.9	3,224,990	103.3	1,810,870	86.0
2017 (H29)	171,723	86.5	4.8	110,240	87.8	4.9	3,551,670	110.1	2,251,423	124.3
2018 (H30)	198,082	115.3	4.6	126,263	114.5	4.8	4,306,198	121.2	2,613,095	116.1
2019 (R1)	134,353	67.8	3.5	84,399	66.8	3.4	3,893,369	90.4	2,512,268	96.1
2020 (R2)	162,922	121.3	4.7	102,440	121.4	4.5	3,440,935	88.4	2,259,842	90.0
2021 (R3)	105,583	64.8	3.9	63,344	61.8	3.2	2,699,564	78.5	1,964,389	86.9
2022 (R4)	146,298	138.6	5.6	107,366	169.5	4.7	2,590,047	95.9	2,274,236	115.8
2023 (R5)	129,199	88.3	4.9	106,886	99.6	4.0	2,653,238	102.4	2,661,246	117.0

3. 緑茶の原産国（地域）別輸入実績推移（沖縄）

（単位：K G、千円）

年	0902.10-000（小売用）				0902.20-200（原料用）					
	中華人民共和国		台 湾		中華人民共和国		台 湾		ベ ト ナ ム	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1988 (S63)	-	-	-	-	-	-	16,453	13,139	-	-
1989 (H1)	-	-	-	-	-	-	19,741	18,947	-	-
1990 (H2)	-	-	-	-	-	-	5,058	6,985	-	-
1991 (H3)	-	-	-	-	-	-	39,196	29,857	9,816	1,961
1992 (H4)	-	-	-	-	-	-	32,007	27,648	11,838	1,993
1993 (H5)	-	-	-	-	-	-	30,829	23,540	317,642	98,408
1994 (H6)	-	-	-	-	-	-	32,508	24,805	46,738	9,534
1995 (H7)	-	-	-	-	-	-	12,062	8,742	29,580	7,516
1996 (H8)	-	-	-	-	-	-	34,754	31,153	147,265	40,310
1997 (H9)	-	-	-	-	115,819	24,842	2,700	2,330	16,310	3,179
1998 (H10)	-	-	-	-	84,681	12,031	-	-	-	-
1999 (H11)	13,345	297	-	-	302,959	61,283	2,700	1,635	-	-
2000 (H12)	-	-	-	-	55,851	9,721	-	-	-	-
2001 (H13)	-	-	-	-	21,975	3,935	-	-	-	-
2002 (H14)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2003 (H15)	22,625	7,108	-	-	8,357	3,708	-	-	-	-
2004 (H16)	18,432	5,639	-	-	26,972	5,935	-	-	-	-
2005 (H17)	23,040	6,649	-	-	7,920	1,295	-	-	-	-
2006 (H18)	9,292	6,188	-	-	33,153	8,185	-	-	-	-
2007 (H19)	46,882	24,147	1,344	2,543	126,930	49,218	200	487	-	-
2008 (H20)	95,600	32,920	2,112	3,482	123,295	54,578	1,296	564	-	-
2009 (H21)	84,428	20,825	2,400	3,604	85,847	37,991	-	-	-	-
2010 (H22)	98,330	29,291	1,872	2,584	176,139	61,143	-	-	-	-
2011 (H23)	83,784	24,618	1,722	2,214	140,930	47,138	-	-	-	-
2012 (H24)	83,689	29,763	1,548	1,950	204,312	78,109	-	-	-	-
2013 (H25)	110,826	45,742	1,272	2,003	155,538	83,803	-	-	-	-
2014 (H26)	93,676	46,867	1,032	1,702	144,440	90,180	-	-	-	-
2015 (H27)	100,276	58,542	744	1,481	160,409	114,163	1,392	2,466	-	-
2016 (H28)	97,594	51,076	960	1,776	198,561	125,595	-	-	-	-
2017 (H29)	114,467	60,454	384	766	171,445	109,697	278	543	-	-
2018 (H30)	102,783	56,075	996	1,711	197,156	124,414	926	1,849	-	-
2019 (R1)	110,045	60,858	1,702	3,341	134,353	84,399	-	-	-	-
2020 (R2)	103,223	54,515	783	1,275	162,922	102,440	-	-	-	-
2021 (R3)	95,616	49,566	922	1,753	105,583	63,344	-	-	-	-
2022 (R4)	119,143	76,241	367	795	146,298	107,366	-	-	-	-
2023 (R5)	119,405	83,826	539	1,393	129,199	106,886	-	-	-	-